

【つい言（い）いすぎてしまうあなたへ】

あなたに手紙を書きます。つい言（い）いすぎてしまうあなたに手紙を書きます。親やきょうだいや友だちとけんかする。カッとなって、つい言（い）いすぎてしまう。後で、「あんなこと言うんじゃないかな」と後悔してしまう。そんな経験があるでしょう。

あなたが小学4年生の時です。母とけんかしました。私は泣きじゃくり、最後に捨てりふのようこう言（い）いました。「お母さんなんか、死んじゃえ。」すると、母が急におしまった後で、「よしあき、けんかをしていても、言（い）いこととけないことがあります」と、静かな低い声で言（い）いました。ぞっとするほどよかった記憶が残っています。私は、「とんでもないことを言（い）ってしまった」と反省しました。

ある日、友だちとけんかをした時のようすを母に告げたことがありました。「村井くんなんて、大きい！」と言うと、母が同じように、「その言葉は言（い）ってはいけない」と静かに言（い）いました。こんな経験を通して、私はどんなに仲が悪い時でも、言（い）ってはいけない言葉があることを学びました。

自分の中で、これだけはどんな時でも絶対言（い）わない言葉を決めています。つい言（い）いすぎてしまうあなたには、「絶対言（い）わない言葉」を作ることをおすすめします。そうすれば、けんかしてもすぐに仲直りできるようになるよ。

ひきたさんに手紙を書こう。右の送り先でひきたさんへ。

必要事項
名前
〒住所
電話番号
学校名/学年

メール
asasho@asagaku.co.jp
はがき

104-9433
朝日小学生新聞
〒104-9433 東京都中央区本町2-1-1
朝日小学生新聞編集部

< 5/18 朝日小学生新聞より >

家（いえ）にいる時間（じかん）が長（なが）くなり、家族（かぞく）で過（す）ごす時間が長くなっていることと思（おも）います。

お互（たが）い、ずっとストレスをためてしまっていて、心（こころ）ではそんな思（おも）っていないなくても、「つい言（い）いすぎてしまう」というようなことはないでしょうか？

この記事（きじ）を読（よ）んで、少（すこ）し深呼吸（しんこきゅう）して、もの言（い）い方（かた）に気（き）をつけられるといいですね。

これからは、上手（じょうず）にコロナと付（つ）き合（あ）っていく時期（じき）に入（はい）ると言（い）われています。まだまだ、先（さき）の見（み）えなくて不安（ふあん）になることもあるでしょう。そんな時（とき）、「これは言（い）ってはダメ」という言葉（ことば）を考（かんが）えてみましょう。